



Data

監督・脚本: クレール・ドニ
 出演: ロバート・パティンソン/ジュリエット・ビノシュ/ミア・ゴス/アンドレ・ベンジヤミン/ラース・アイディンガー/アガタ・フゼク/クレア・トラン/ユアン・ミッチェル/グロリア・オピアニョ/ジェシー・ロス/スカーレット・リンジー/ピクター・パナルジー

■ショートコメント■

◆公式HPによると、「2018年トロント国際映画祭 GALA 部門で本作がプレミア上映されると、大絶賛とブーイングが同時に巻き起こり、会場はめったに見られないほど騒然とした雰囲気包まれた」そうだ。「そんなショッキングな問題作」は必見！

また、『イングリッシュ・ペイシエント』(96年) というすばらしい映画で、すばらしい演技を見せて、英国アカデミー賞の最優秀助演女優賞と1997年のベルリン国際映画祭で最優秀女優賞を受賞したジュリエット・ビノシュが“謎の女性科学者”として宇宙船を支配し、“人間の性に関するある実験”を続けているというから、その方面から(?)も本作は必見。しかし・・・。

◆冒頭、何の説明もないまま、モンテ(ロバート・パティンソン)と赤ん坊が遊んでいる風景が映し出される。しかし、これだけでは何のことかサッパリわからない。しかし、実はこの女の子は・・・？

徐々にその種明かしがされ、宇宙船内での“人間の性に関するある実験”の全貌が明らかにされていくわけだが、なんじゃ、それは・・・？

◆チラシによると、宇宙船に乗り込んでいる9人の男女は、実は全員死刑や終身刑を告げられた重犯罪者たちで、彼らは、ある実験に参加することで重い刑罰を免除されたそうだ。しかし、スクリーン上ではその説明は全くないから、多分私を含む多くの観客はチンプンカンプン。これでは、途中退出者が出るのもやむを得ない。現に私が鑑賞した時も、少ない観客の中から1人途中退出者が・・・。こりゃハッキリ言って、時間の無駄でした。

2019 (平成31) 年5月14日記